

J-MONITOR調査概要

調査地域：大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県

調査対象：朝日新聞を購読している15歳～69歳の男女個人

調査実施日：2020年4月21日（火）

抽出方法：新聞広告による公募を中心とし、インターネット調査モニターパネルからの公募で補完。
応募者をJ-READの当該地域・対象者の性×年齢・職業・家族人数等の属性に従い割付

調査方法：パソコン・タブレット・スマートフォンを利用したウェブ調査。

有効回答者数：242人

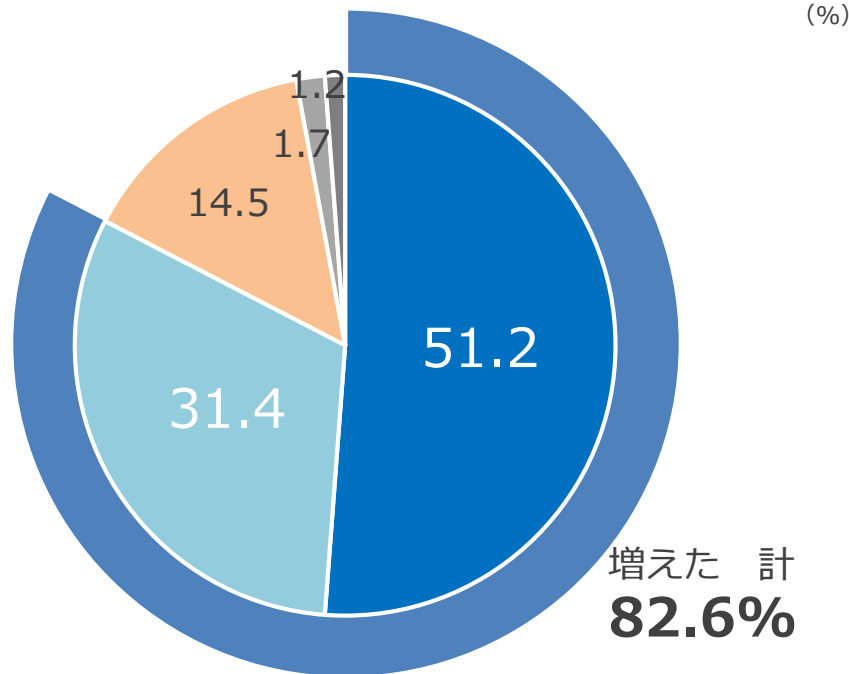
調査機関・レターヘッド：（株）ビデオリサーチ

8割が「在宅時間が増えた」と回答

在宅時間の変化

全体(n=242)

在宅時間について、全体の8割が「増えた」と回答。

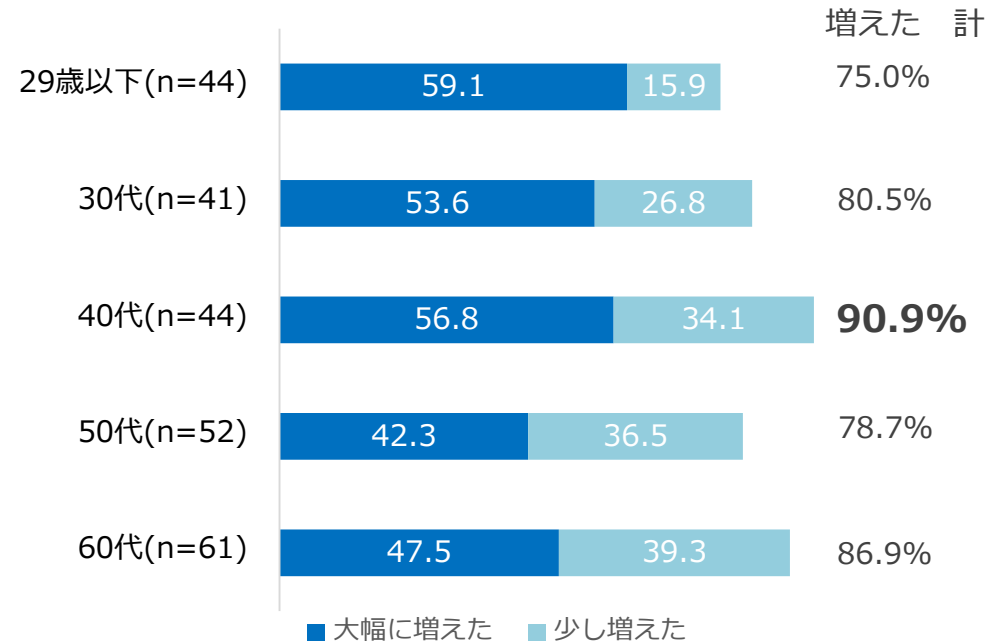


- 大幅に増えた
- 少し増えた
- 変わらない
- 少し減った
- 大幅に減った

在宅時間の変化：年代別

年代別で見ると、40代で増えたと答えた方が多い。

(%)



現在は働いていないと答えた方以外 (n=154) の在宅勤務率は約3割

完全にテレワークが導入され、 全員在宅勤務をしている	7.8%	テレワーク 導入 42.9%	在宅勤務実施 27.3%
職種により一部テレワークが導入され、 該当者のみ在宅勤務をしている	19.5%		
業務内容により、 日によってテレワークを導入している	15.6%		
テレワークを検討しているが、まだ実現していない	7.8%		
テレワークは不可能な職場環境のため、導入されていない	49.3%		

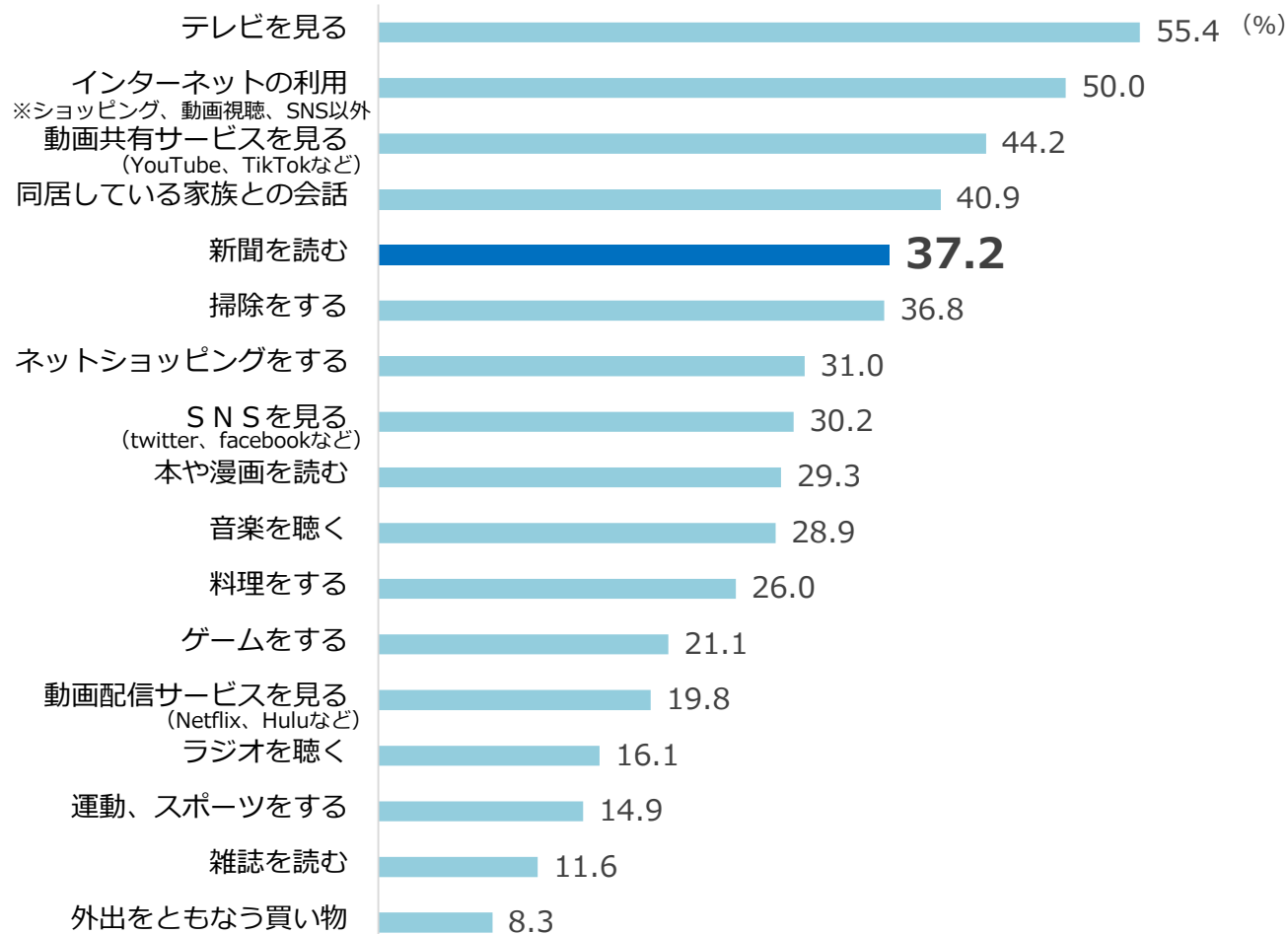
テレビ、ネット、新聞など情報収集活動が活発に

■【近畿圏】「新型コロナウイルス感染拡大環境下での朝日読者の行動・意識調査」J-MONITOR調査
 調査地域：大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県
 実査機関：ビデオリサーチ
 調査日：2020年4月21日

直近1カ月で増えた行動

※複数回答
 全体(n=242)

1日の行動の中で増えたことを尋ねた。「テレビを見る」「インターネットの利用」が増えた人が半数を超えた。4割近くが「新聞を読む」ことが増えたと回答した。



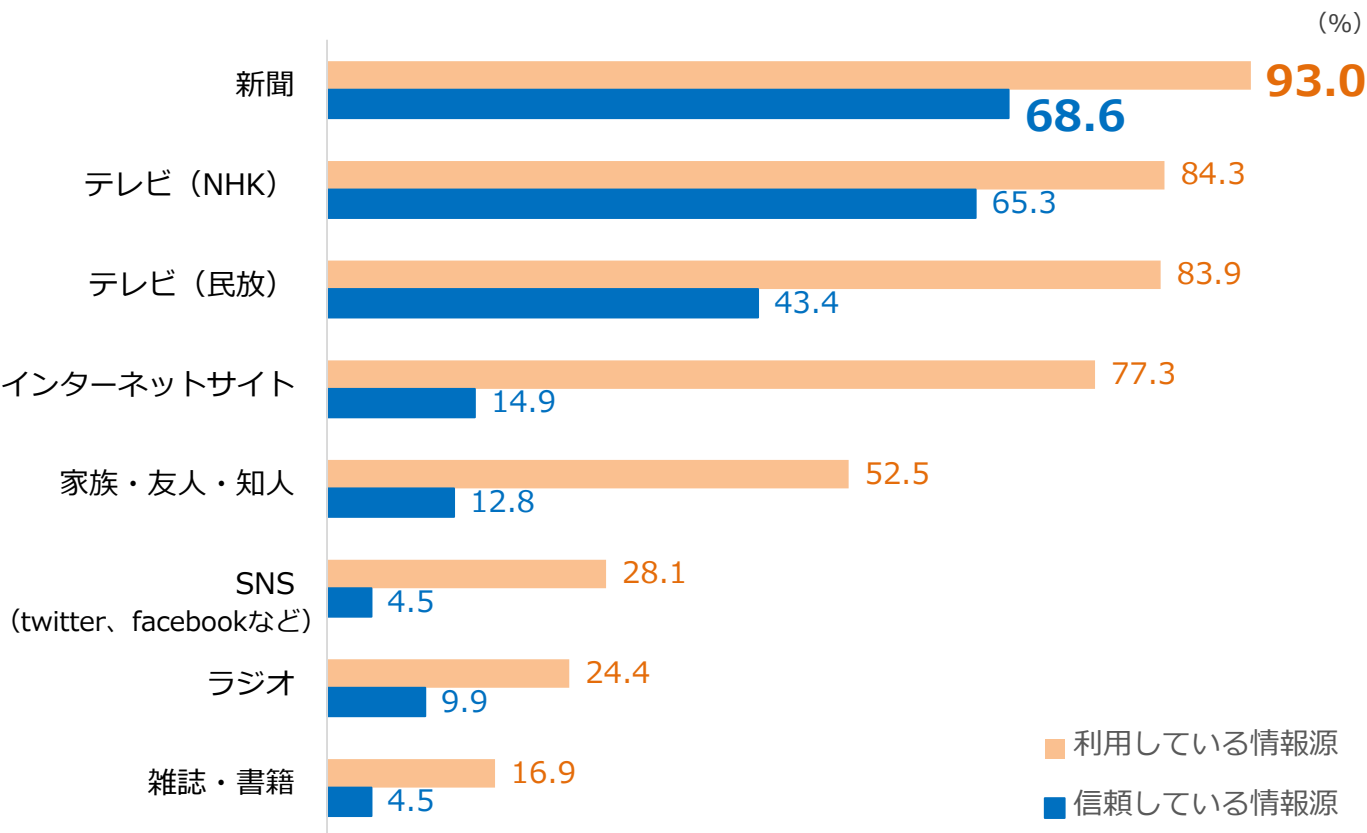
情報源として9割が利用 信頼されている情報源も新聞が1位

■【近畿圏】「新型コロナウイルス感染拡大環境下での朝日読者の行動・意識調査」J-MONITOR調査
 調査地域：大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県
 実査機関：ビデオリサーチ
 調査日：2020年4月21日

利用している・信頼している情報源

※複数回答
 全体(n=242)

新型コロナウイルス関連の情報を取得する際に利用している情報源、さらにはその中で信頼している情報源について聞いた。朝日新聞読者ではどちらも1位は新聞となった。テレビ（民放）、インターネットサイト、家族・友人・知人の情報は利用と信頼との乖離が大きい。年代別で見ても新聞は上位となっている。



年代別上位項目（利用している情報源）

	1位	2位	3位
29歳以下 (n=44)	新聞	テレビ (民放)	テレビ (NHK)
30代 (n=41)	新聞	テレビ (NHK)	テレビ (民放)
40代 (n=44)	新聞	テレビ (NHK) インターネット	
50代 (n=52)	新聞	テレビ (NHK・民放)	
60代 (n=61)	新聞	テレビ (民放)	テレビ (NHK)

年代別上位項目（信頼している情報源）

	1位	2位	3位
29歳以下 (n=44)	新聞	テレビ (NHK)	テレビ (民放)
30代 (n=41)	テレビ (NHK)	新聞	テレビ (民放)
40代 (n=44)	新聞・テレビ (NHK)		テレビ (民放)
50代 (n=52)	新聞	テレビ (NHK)	テレビ (民放)
60代 (n=61)	新聞	テレビ (NHK)	テレビ (民放)

■ 利用している情報源
 ■ 信頼している情報源